



学校だより

平成28年7月20日
四日市市立小山田小学校

いよいよ楽しい夏休み！

この地方でも梅雨が明けました。暑い日が続き、セミ時雨がにぎやかです。照り付ける太陽の日差しのもと、校庭を走り回って遊ぶ子どもたちの元気さには驚かされます。

7月20日(水)をもって1学期が終わり、いよいよ子どもたちが楽しみにしている42日間の夏休みが始まります。個人懇談会で担任からお伝えしたことや、1学期の連絡表「あゆみ」をもとに、お子さまと1学期を振り返っていただき、**有意義な夏休み**にするためのめあてや過ごし方について話し合ってみてください。子どもたちには、**夏休みだからこそできることにチャレンジし**、思い出深い時間をつくってほしいと願っています。夏休み中、熱中症などにならないよう**健康**によく気をつけて、**交通事故や水の事故**にあわないよう注意してほしいと思います。

9月にまた元気な顔の子どもたちに会えるのを、職員一同楽しみにしています。



正しい自転車の乗り方～交通安全教室～

夏休みを目前にした7月13日(水)に、四日市市道路管理課「とみまつ隊」の皆さんによる**交通安全教室**を行いました。

低学年と高学年の2部に分かれて、**自転車**に乗る際に守るべきルールなど、命を守るためのとても大切なことを学びました。

「腹話術のケンちゃん」の楽しいお話、**ヘルメット**の役割を確かめる実験、**交通ルール**に関するクイズやアニメなど、わかりやすく楽しい内容が盛りだくさんでした。

自分も他の人も傷つくことがないように、安全には十分に気をつけて楽しい夏休みしてほしいと思います。



ペットボトルで浮いた～着衣水泳～

子どもたちの歓声でにぎわったプールも、授業としては7月15日(金)が最終日となり、**着衣水泳**に取り組む学年がありました。

6年生は、本校の学校づくり協力者会議の委員でもある消防士の片岡洋将さんに着衣水泳をご指導いただきました。

「池や川でおぼれてしまったときは、**あわてない**ことが大事。パニックにならないようにしよう」「体の力を抜いて、浮くように心がけよう」「おぼれている人を見つけても、**絶対に飛び込まない**ように。何でもいいで、浮くものを投げてあげよう」などの話を一つ一つ心に刻みました。

子どもたちは、片岡さんから**ペットボトル**を使った上手な浮き方や、使わないときの浮き方のコツを教えていただき、さっそく実践してみました。

洋服が思いのほか重く感じられる中、みんなで声をかけあいながら取り組みました。万が一に備えて、貴重な体験となりました。

かたおかひろまさ



～お知らせ～

【チェックシートの取り組みについて】

夏休み前にチェックシートに取り組んでいただき、ありがとうございました。

夏休み中も基本的な生活習慣が守られるように、ご家庭でのご指導よろしくお願ひします。

【運動会の組立体操の演技内容について】

ピラミッドなどの演技において、安全面に配慮して、**過度の高さを求めない**内容にします。ご理解ください。

【夏休みの校内作品展について】

図画・ポスター、工作、習字、自由研究、新聞スクラップなど。校内作品展は、以下の日程で開催します。

9月3日(土)～9月7日(水) 図工室・理科室

(※ 但し、9月3日の親子除草中は除きます。)

ぜひ、子どもたちの夏休みの成果をご覧ください。

【夏休み中の「学校休校日」について】

8月12日(金)・15日(月)は、学校休校日です。緊急連絡は、四日市市教育委員会学校教育課(TEL354-8251)へ。

おはよう！ またあした！ おやまだっ子通信



小山田小学校長

やったあ！ だいじょうぶ？

楽しかった！ 親子でかんたんクッキング

7月16日(土) 午前10時からPTA文化交流部研修会『親子でかんたんクッキング』を開催しました。会場の家庭科室は、70人の親子で満員となりました。

本校の学校栄養士小林良子が講師を務め、カルシウムたっぷり！簡単おやつ「お菓子なごはん」と「冷製みたらしだんご」を作りました。

子どもたちは、材料をこねて星型やハート型など思い思いの形を作ったり、ホットプレートの生地を自分でひっくりかえしたりなどしました。

「手がべとべとになったけど、楽しかった！」と目を輝かせました。

親子で仲良くクッキングができましたので、とてもおいしくできあがりしました。夏休みにもぜひ、親子で何かに取り組んでみてはいかがでしょうか。

親子でお料理、楽しいですね！



世界でいちばん応援したい人は誰ですか？

最近、あるネットCMで子育てに関する動画を見て、親子の心の交流や葛藤について考えさせられました。

動画に出てくるお父さんは、『がんばれ！』が口癖で娘が赤ん坊のころからずっと応援し続けます。娘の成長記録をビデオで追いつけます。

しかし、娘が中学、高校と進学していく過程で、娘は父の『がんばれ！』を負担に感じるようになってしまいます。「うるさいな…関係ないじゃん…」

次第に父を避けるようになる娘。父の背中が寂しそうです。「いい父親ってのは、難しいもんだな…」

一方、部屋にこもって外を眺める娘。「お父さんが悪いわけじゃないけど…」とテロップが流れます。

娘は大学に合格し、上京することになります。別れの電車に乗るとき、娘が言います。「ねえ、お父さん。いつもみたいに『がんばれ！』って言ってよ」

父はいつまでも電車を追いかけ、『がんばれ！』と叫び続けます…。

わが子の幸せを願わない親はいないと思います。時に、その気持ちが強くなりすぎて、衝突をおこしてしまうこともあるかもしれませんが、心からの応援は子どもの心にきっと届いていると信じます。(森本)

【保護者の皆さまへ】

～夏休みの自由研究の取り組み方について(お願い)～

夏休みを利用して、自由研究に取り組む子どもたちが地域に出かけたり、関係者にインタビューしたりすることは貴重な体験・学びとなります。

しかし、市教育委員会によると、残念なことですが、一部の市民から以下のような声(苦情)があったそうです。

- 調べ学習に協力しても、あまり礼の言葉がない。
 - 子どもに資料を貸しても返ってこない。 など
- 地域での学習活動は、公共マナーや礼儀などを学ぶよい機会です。そこで、自由研究に取り組む前に、次のことについてご指導・ご協力をお願いします。

- ① 安全に気をつけるとともに、マナーを守ってしっかりと取り組む。
- ② 地域の方からお借りした物はきちんと返却する。
- ③ 地域の方への感謝の気持ちを、言葉や態度できちんと伝える。



夏休み中に、運動場の整備作業をしてもらいます。地面がきれいになるよ。

音楽室の空調設備もつけていただきます。

